

年末調整等について学びませんか？

お問い合わせ
北那覇税務署
☎877-1324

年末調整及び法定調書等の作成について、説明会を開催します。

開催日	時間	会場
11月20日(火)	10:00~12:30	沖縄コンベンションセンター 劇場棟 宜野湾市真志喜4-3-1
	13:30~16:00	

※会場駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

電話相談センターでも税務相談を受け付けています！

☎877-1324

- ・扶養親族等の要件など、年末調整に関する質問
- ・源泉徴収票の記載方法など、法定調書等の作成に関する質問

音声案内に従い番号「1」を選択

事業主、不動産貸付
を行うみなさん！

記帳説明会にご参加ください！

個人で事業や不動産貸付等を行う全ての方(住民税申告をした方も含む)は、記帳と帳簿書類の保存が必要です。具体的な記帳の仕方等について、北那覇税務署及び北那覇青色申告会と合同で「記帳説明会」を開催します。出席される方は、11月6日(火)までに下記へお申し込みください。

【日時】 11月13日(火) 【場所】 西原町役場3階 研修・閲覧室	①事業収入のある方	10時~12時
	②建物貸付(アパート、貸家、店舗、事務所、倉庫等)のある方	13時30分~ 14時30分
	③公用地貸付(米軍基地、自衛隊基地、那覇空港用地等)または民間地貸付(駐車場、住宅・店舗用地、ヤード用地等)のある方	15時~16時

申込み・お問い合わせ先 総務部 税務課 町東民税係 ☎945-4729





(代表取締役社長 与那覇 正明)

西原町
人材育成会へ

愛の贈りもの

あなたがかいお心遣いに、深く感謝申し上げます。

寄付額 100万円
寄付者 丸正印刷(株)

中部病理診断科

がん検診と診断クリニック

ホームページ <http://okinawa-byouri.com>

当クリニックはがん検診とがんの診断を行う専門クリニックであり、病理診断を行った病理医が診断結果を直接お伝えします。不正出血・吐血・下血・血痰がある、痛みやしこり等の症状がある方や親族にがん患者があり、がんの不安がある方、がん検診・診断はお任せください。

〒901-2422 中頭郡中城村新垣545-1 TEL/FAX (098)895-1620

ろうきん教育ローンキャンペーン

【キャンペーン期間】2019年4月30日(火)まで

※最大引下げ後金利

年 **1.7%** ~

※変動金利

年 **2.7%**

●最高2,000万円
●最長20年

※表示金利は、2018年11月1日現在のものです。
※詳しくは、(ろうきん)窓口へお問い合わせください。

沖縄県労働金庫 与那原支店 ☎098-946-4710 (平日9:00~15:00)

ごみの総排出量はどれくらい？
▶年間 10,517t

町民1人あたり1日のごみの量を100g減らすとどれくらいお金が浮くの？
▶ごみ1tを処理するのに20,784円かかっているため、町民1人ひとりが100gのごみを毎日減らすことで1年間に約2,600万円の費用を減らすことができます！

ごみ減量化


毎日100gのごみを減らすと、2600万円削減できます!!

ごみ処理にいくらかかるの？
▶年間 2億 1,858 万円

100gのごみの量ってどれくらい？
おにぎい2/3こくらい

1日1人当たりのごみ排出量は？
▶806g(およそりんご2個分)
2021年目標値 780g

ココが POINT!



家庭から出る燃えるごみの中で一番簡単に減らすことができるものが「生ごみ」です。実は生ごみは水分を約80%含んでいるので、水切りや乾燥させることで重さがぐんと軽くなり、ごみの減量につながります。びしょびしょのまま捨てず、ネットなどでしっかり水気を切りましょう。

しっかりと水切りすることで、
およそ1割の減量効果が!

- ・ごみ袋が少なくてすむので経済的
- ・軽くなるのでごみ出しが楽になる
- ・いやな臭いが減る


また、家庭菜園があれば、生ごみを堆肥化肥料として使うことでごみの減量につながります。買い物をするときにレジ袋はもらわずエコバッグを使用し、割り箸ではなくマイ箸・マイボトルなどを利用するなど、使い捨てではなく、繰り返し利用できるものを使用することも大切です。

わずか100gの減量でも、町民のみならず1人ひとりが取り組めば大きな成果になります。ごみ処理費用を削減できれば、他の取り組みにその分を使うことができます。ご協力をお願いします。

お問い合わせ 総務部 生活環境安全課 環境保全係 ☎945-5018

10月2日

最終処分場 供用開始



西原町、与那原町、八重瀬町、南城市、糸満市、豊見城市合同による被覆型一般廃棄物最終処分場「美らグリーン南城」が南城市玉城にて完成し、一部供用が開始されました。同施設は本島で初めてとなる、処分場に屋根をかぶせる被覆型となっており、雨風・小動物の影響を受けることなく、ごみの焼却灰などを埋めて無害化することができます。瑞慶寛長敏南城市市長は「15年間しっかりと役割を果たし地域貢献し、今後の手本となるよう期待します」と激励しました。最終処分場は、構成市町村が15年毎に持ち回りでの建設を予定しています。